

聖火のはじまり

近代オリンピックでは、パリ1924大会まで聖火はありませんでした。アムステルダム1928大会の際、スタジアムの外に塔を設置し、そこに火を灯し続けるという案が採用されたことが契機となり、現在のような聖火が誕生しました。

聖火は、古代オリンピックの聖地であるオリンピアのヘラ神殿前で採火され、開会式当日、最終ランナーによってメインスタジアムの聖火台に点火され、大会が終わるまで灯し続けられます。

東京オリンピック1964大会と2020大会を比較

	1964大会	2020大会
リレー方法	沖縄に到着した聖火が4つのルートに分かれ約1か月間全国をリレーし、東京でひとつの灯にまとめられた。	ひとつの灯が全国47都道府県を121日間でリレー
人数	正走者1人、副走者2人、随走者20人以内の隊列をつくり約10万人でリレー	一部区間ではグループでの走行もあるが、基本は1人で走行し約1万人のランナーでリレー
一区間あたりの距離	集団で平均1.54km	約200m
選考条件等	先頭を走る「正走者」には16歳から20歳までの若者が選ばれた。	2020年に中学1年生以上であることなどが応募条件となっている。

東京2020オリンピック競技大会まであと172日(2月1日時点)

問 オリンピック推進室 ☎767-2130

利府町 No.21

地域おこし協力隊がゆく!

2019年4月から、地域おこし協力隊の活動をスタートしました。利府町の魅力・見どころを日々発信します。

協力隊員からのメッセージ



担当者 **吉川 一利**
きっかわ かずとし



梨のガチャマシン



梨の缶バッチ

利府梨の「缶バッチ」がデビューしました

136年前から続く、利府梨栽培の伝統を今に継承しつつ、さらに発展させていくために、梨を生かしたものづくりを日々進めております。

親子連れや子どもにもお求めやすく、若年層にも利府梨について興味を持っていただくことのできる商品づくりをめざし、今回は「利府梨の缶バッチ」全9種を制作しました。利府駅前 tsumiki の委託販売スペースに缶バッチが入ったガチャマシンを設置していますので、ぜひ回してみてくださいね!

これからも町名産の梨を広めるべく、新たな商品開発を続けていきます。

ブログやってます

地域おこしと梨とオラ  検索



トイレの偏差値

有川浩氏の小説『県庁おもてなし課』には自治体が行き届くべき政策が詳細に描かれていて、中でもトイレの話は秀逸です。曰く「観光地として成熟している所はトイレに困らな



い]また「女性にとって水回りが汚いのは最大のNG」等々。トイレは行政を評価する基準であると示唆しています。

2011年の震災を振り返ってみて、多くの避難所で被災時のトイレ事情の劣悪さが目立ちました。以来全国各地で「被災地」が増えるたびにトイレ事情を気にしていましたが、トイレで被災地支援をしようという動きが出てきました。その一つが「トイレカー」です。軽トラックと洋式水洗トイレが一体化しており、被災して使用不可となった廁の場所へ車でのりつけ、清潔なトイレを届けるのが目的です。

万が一の場合のみならず、移動式のトイレがあれば、平時でも相当に役立つのではないかと考えました。利府町内でもトイレ不在地区があります。例えば、馬の背、県民の森、グランディ周辺、葉山地区のグラウンド、特にコンサート時のグランディの女子トイレの行列は痛々しい光景です。人の賑わいとトイレはセットで考え、三密回避の解決法を差し込まなければなりません。トイレカーは良い解答だと思います。

トイレカーの用途は多様で、災害時、観光目的(経済活性化)、被災地応援、利府町のPR(外面にラッピング可能)など、実用的かつマルチに活躍してくれます。第2次地方創生臨時交付金で、小回りが利き使い勝手の良い「トイレカー」の購入を決め、12月議会で議決いただきました。

以前から懸案だった利府駅構内のトイレ改修とロータリーの再整備が終わり、観光に弾みがつく時期にコロナがやってきました。全く鬼みtainな存在です。『鬼滅の刃』が大流行するのも理解できません。全集中で豆まきしないと、です。

利府町長 熊谷大